教育委員会総務課長
子ども政策課長
子育て支援課長
保育課長　殿

日経関発第31－0814号
2019年4月22日

一般社団法人 日本経営協会
関西本部長 山下裕和

【NOMA行政管理講座（大阪）のご案内】

子どもの貧困対策と子ども支援策

～子どもをめぐる現状の把握と対策に向けた方向性を探る～

拝啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

本会事業活動には、平素より格別なご支援・ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

日本の子どもの相対的貧困率は1990年代より上昇し続けており、子どもの6人に1人が貧困状態にあるとされています。これはOECD加盟国平均よりも悪く、2014年に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」施行後、政府も「子供の貧困対策に関する大綱」を策定し、子どもの貧困への総合的な対策の推進をはじめました。こうした状況の下、自治体においても子どもの貧困対策は喫緊の課題となっています。

本講座は、内閣府 子供の貧困対策に関する有識者会議委員であり、子どもの貧困対策や教育支援に関する委員等を歴任されている山野則子氏を迎え、子どもの貧困や子育て支援に関する現状と政策を解説いたします。その上で、各自治体において取り組むべき課題と対策手法について、事例を交えながら学んでいただきます。

公務ご多用の折とは存じますが、この機会に関係各位のご参加をおすすめ申しあげます。

敬具

記

日　　時：**2019年8月20日（火）** 13：00～16：00
8月21日（水） 10：00～16：00

会　　場：**本会専用教室**（大阪市西区靱本町1－8－4 大阪科学技術センタービル内）

講　　師：大阪府立大学 地域保健学域 教育福祉学類
人間社会システム科学研究科　教授・博士（人間福祉）**山野（やまの）則子（のりこ）**氏

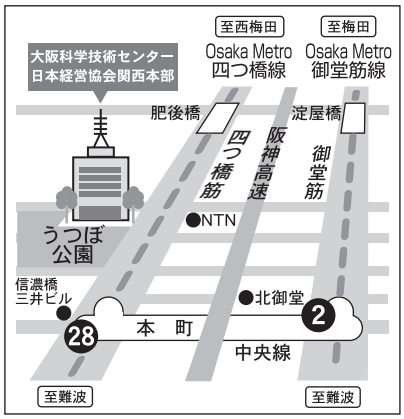
参加料（負担金）：

	参加料	消費税	合計
本会会員（1名）	29,000円	2,320円	31,320円
一般（1名）	32,000円	2,560円	34,560円

※銀行振込の手数料は貴団体にてご負担ください。

申込方法：裏面の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送またはファクシミリ送信にて、下記へお申込みください。**折り返し参加券と振込銀行・口座名を記載した請求書を連絡ご担当者宛にお送り致します。**（参加申込は参加券の発送にて確認させていただきます。不着の場合は必ず前日までに電話でご確認ください。）
なお、参加料は開催日までにご納入賜りますようお願い致します。
・電話予約も受付けます。（この場合では後から申込書をご送付ください。）
・領収書は「振込金受領書」をもって代えさせていただきますのでご了承ください。
・参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては、中止・延期させいただく場合があります。
・お納めいただいた参加料は、原則として返却いたしかねますので、参加申込の方がご都合の悪い場合は、代理の方にご出席いただきますようお願い致します。

〈会場案内図〉



■大阪方面よりお越しの場合
▶ 四つ橋線「本町」駅下車（28号出口）北へ徒歩5分
■新大阪方面よりお越しの場合
▶ 御堂筋線「本町」駅下車（2号出口）西へ徒歩8分
■なんば方面よりお越しの場合
▶ 四つ橋線「本町」駅下車（28号出口）北へ徒歩5分
▶ 御堂筋線「本町」駅下車（2号出口）西へ徒歩8分

キャンセル：開催日の3営業日前～前日のキャンセルは受講料30%、開催当日のキャンセルは100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡なくご欠席の場合でも、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

ご宿泊：ご参考までに会場周辺のホテルを下記のとおりご案内申しあげますので、必要な場合は直接ホテルへお早めにお申込（予約）ください。（**※本会では宿泊手配（予約）はいたしておりません。**）※宿泊料は変更になる場合がございます。

ホテル名	宿泊料（シングル）	交通	ホテル電話
リーガ中之島イン	9,000円（税・サ込）日本経営協会優待料金	会場より徒歩10分	06－6447－1122
ハートンホテル西梅田	8,500円（税・サ込）日本経営協会優待料金	JR大阪駅より徒歩5分	06－6342－1111

お申込み・お問合せ先：**一般社団法人 日本経営協会　関西本部　企画研修グループ**（担当：田中）
〒550-0004　大阪市西区靱本町1－8－4　大阪科学技術センタービル5階
TEL 06(6443)6962（直通）　FAX 06(6441)4319　URL https://www.noma.or.jp
（※お問合せは、月～金曜日の9：15～17：15にお願い致します）

▶担当講師より◀

子どもの貧困、孤立は実は予想をはるかに上回って浸透している。そのなかで、貧困や孤立がさらに次の問題の発生につながり、ますます子どもたちの生きにくい社会となっている。そのつながりを見ないまま、家族や子どもの課題とうつり、表面化した少年事件、いじめ、児童虐待などに学校や専門家が悪戦苦闘しているのが現状である。そのような現状において、まず実態を正確に知り、どのように政策を策定していくのか、じっくり検討することは重要である。少しでも子どもの最善の利益に資する策を作っていくきっかけになることを期待する。

▶プ ロ グ ラム◀

1. 子どもを取り巻く環境、課題
- (1) 子どもを取り巻く現状
  - ①子どもの生活実態
  - ②児童虐待
- (2) 子どもを取り巻くさまざまな問題の現状
- (3) 学校や関係機関の実態
- (4) 各自治体の現状や課題【情報交換】

2. 国の動き
- (1) 子どもの貧困対策の推進に関する法律、大綱
  - ・スクールソーシャルワークと学校プラットフォーム
- (2) 中央教育審議会の答申とその後
  - ・チーム学校
  - ・コミュニティスクール
  - ・地域と学校の協働
- (3) 児童福祉法等の改正
  - ・子どもの最善の利益
- (4) 各自治体の現状や課題【情報交換】

3. 子どもの貧困対策、文科省の施策の課題と対応策
- (1) 教育・生活・保護者就労・経済支援の手法
- (2) すべての子どもを包括する仕組みづくり
- (3) 市町村の取り組み状況、事例紹介
- (4) 各自治体の現状や課題【情報交換】

4. 質疑応答

【講師紹介】
大阪府立大学 地域保健学域 教育福祉学類
人間社会システム科学研究科
教授･博士(人間福祉) 山野(やまの) 則子(のりこ) 氏

大阪府立大学 地域保健学域 教育福祉学類／人間社会システム科学研究科　教授であり、日本子ども家庭福祉学会 副会長、日本社会福祉学会 理事等を歴任。
【その他委員等】
内閣府　子どもの貧困対策検討会議委員(2014年)･子供の貧困対策に関する有識者会議委員(2015年～)、文部科学省中央教育審議会本委員(2017年2月～)、文部科学省　家庭教育支援の推進方策に関する検討委員会座長(2016年度)、文部科学省　学校における教育相談等に関する調査研究会議委員(2015年～)、大阪府子ども施策審議会会長、大阪市子ども子育て支援会議座長、大阪府子どもの貧困部会長(すべて現在)ほか。
【著書】
「生活困窮者支援で社会を変える」(2017･共著･法律文化社)、「すべての子どもたちを包括する支援システム」(2016･編著･せせらぎ書房)、「エビデンスに基づくスクールソーシャルワーク～教育行政との協働プログラム」(2015･編著･明石書店)、子ども家庭福祉の世界」(2015･編著･有斐閣)ほか多数。

(※本講座の「出張講座」も承っておりますので、お問合せください。)　(2.5)

FAX(06)6441-4319　一般社団法人 日本経営協会・関西本部（田中）宛（この面をそのままFAXして下さい。）

NOMA 「子どもの貧困対策と子ども支援策」参加申込書（2714）　2019.8／20～21

(フリガナ) 役所名(団体)		TEL　(　　) FAX　(　　)
所在地	〒	・お支払い方法 □銀行振込　領収書宛名 □当日持参 (該当にレ印をつけてください。) ・参加料　□会員（1名）31,320円 □一般（1名）34,560円 所属＿＿＿＿＿＿ ご連絡担当者＿＿＿＿＿＿

(フリガナ) 参加者氏名	所属･役職名	担当経験年数
(フリガナ)		年 カ月
(フリガナ)		年 カ月
(フリガナ)		年 カ月

今後、E-mailによる行政管理講座のご案内をご希望の方は、アドレスをご記入ください。⇒〔　　〕

※参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。②がご不要の場合は□にチェックしてください。・・・□不要
①参加券や請求書の発送などの事務処理　②セミナーなど本会事業のご案内